

認知症施策について ～共生と予防～

厚生委員会資料
令和4年11月1日
高齢者地域支援課

1. 品川区の認知症の人の将来推計 (第八期品川区介護保険事業計画より)

- 区内で要介護（要支援）認定を受けている高齢者のうち、何らかの認知症状を有する人は2020（令和2）年度で約14,000人に達した。（高齢者人数の約17%）
- 今後も、認知症高齢者は増加が見込まれている。（2040年には対2020年比133%）

要介護認定者における日常生活自立度の判定基準 I 以上高齢者数と高齢者数



2. 普及啓発

- 認知症サポーター養成講座に取り組み、認知症高齢者の理解を地域に浸透させ、地域の中での見守りとさせていくための仕組みづくりに取り組む。
- 様々なテーマを設定した認知症講演会を実施し、認知症に関する関心を高めていく。

<実績>

○認知症サポーター養成講座

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
認知症サポーター養成講座	71回	36回	47回
養成講座受講者数（累計）	17,949人	18,378人	19,060人



○商店向け認知症サポーター養成講座 **New**

↑商店向けステッカー

目的：商店・小売店等を対象に実施し、地域ぐるみで認知症の人が住みやすい環境づくりを目指す。
対象者：荏原町商店街会員 回数：5回（令和4年4月～9月） 受講者：68人（延べ）

○認知症サポーター企画会議 **New**（サポーターとしての活動や取り組みを企画する）

1回目：令和4年7月7日 参加者16人
2回目：令和4年10月24日 参加者18人

○認知症講演会

1回目：令和4年9月17日 参加者39人 テーマ：認知症家族介護について
2回目：令和4年10月18日 参加者19人 テーマ：認知症本人家族支援（ミーティングセンター）について

3. 医療との連携（認知症検診事業「もの忘れ検診」）

- 令和4年度新規事業として、医師会および協力医療機関とともに認知症検診事業を実施した。
- 事業実施結果を評価検証し、次年度の事業実施計画を立案する。

<認知症検診結果>（6～8月検査）今年度中に75歳になる区民を対象に受診券を4,962人分発送

	実施件数	受診率	疑いあり	陽性率
6月分	112件	2.3%	26件	23.2%
7月分	44件	0.9%	8件	18.2%
8月分	77件	1.6%	15件	19.5%
合計	233件	4.7%	49件	21.0%

<今後の動き> 認知症専門医との検討委員会を開催し、検診結果をふまえてケース対応等を協議

4. 重点実施事業

- 国の「認知症施策推進大綱」における「共生」と「予防」を踏まえ、事業を推進していく。

「共生」

認知症の人が尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、また、認知症があってもなくても同じ社会でともに生きるという意味。

「予防」

「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにするという意味。

視 点	事 業
共 生	認知症サポーター養成講座・企画会議 New ⇒サポーターを増やす、サポーター活動を促進させる
	認知症カフェ・本人ミーティング・ミーティングセンター New ⇒本人の自己実現を支援、介護者の負担軽減を図る
予 防	認知症検診 New ⇒早期診断と容態に応じた適切な医療・介護等に導く
	認知症予防事業 ⇒「脳力アップ元気教室」「計画力育成講座」
共 通	講演会 ⇒認知症の理解促進、予防に関する情報提供